

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	新潟県内の病院における院内転落・転倒による骨折の発生状況と危険因子の同定
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
<p>【対象】 協力が可能な新潟県内の医療機関11施設において2020年から2025年の間に院内発生 of 転落・転倒例（40歳以上，上限なし）</p> <p>【研究期間】 新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2028年10月31日まで</p> <p>【過去の研究課題名】 なし</p>	
③概要	
<p>院内転落・転倒に関しては他施設による疫学調査結果が報告されていますが、骨折発生率に関する報告は単一施設によるものは散見されるものの、他施設でのものは見られません。</p> <p>本研究の目的は新潟県内における協力可能な11施設において2020年から2025年までの院内転落・転倒者の中から院内骨折者の発生率を算出し、その危険因子を同定することです。</p>	
④申請番号	2025-0336
⑤研究の目的・意義	<p>入院患者の院内転落・転倒は年間入院患者の1-4%生じると考えられており、300床程度の施設では年間300例ほどの転落・転倒例があると報告されています。多くは骨折や挫創を伴わないものですが、一部の症例で骨折を生じることがあります。</p> <p>院内転落・転倒に関しては多施設による疫学調査結果が報告されていますが、骨折発生率に関する報告は単一施設によるもののみで、多施設でのものは見られません。</p> <p>本研究の目的は新潟県内における多施設での院内骨折者の発生率を算出し、その危険因子を同定することである。</p>
⑥研究期間	新潟大学倫理審査委員会承認後から2028年10月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>診療録情報を用いた後方視的研究であり、新たに生じる不利益、危険性はないと考えられます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>1) 患者背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢 ・性別 ・受傷日時，入院後何日目か ・骨折部位 ・入院科，対象疾患

	<ul style="list-style-type: none"> ・併存症 ・内服薬 ・受傷前の活動性 ・認知症の有無, 程度 ・受傷場所 ・受傷状況 (転倒, ベッドからの転落など) ・行動目的 (トイレに行こうとしたなど) <p>2) 病院条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 ・年間入院者数 ・年間転倒・転落者数 ・院内骨折数 ・看護体制 (7 対 1, 10 対 1 など) ・2 交代, 3 交代 ・見守り体制: 転倒リスク患者への個別対応の有無
◎利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科
㊦試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄
㊦お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 今井 教雄 025-227-2272 imainorio2001@med.niigata-u.ac.jp